

如月愛南文芸

篠南川柳会

水仙の香りがいやす老の部屋
生きて来た跡はうすいが我の道
今頃は地震かみなり家事ごう雨
どう生きる努力しだいで変わる道
苦労坂歩く夫婦という絆
ゆつくりと歩く楽しみ遠回り
悲惨にも豪雨生みだす人情味
よし悪し年間結果の出る師走

菊川俳句会

復興の使者になりけり白鳥は
去年今年堂々飲める酒二合
小春日や猿の家族もミカン狩り
孫集い明日に向って初笑
海へ入る冬満月のシルクロード
騒ぐ浜育てた鰯の出荷船

はじめまして。赤ちゃん。

12月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

12月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

すみ子 保美 木本 千代子 さつき ちずる 安子 もっちゃん
浅野勇一郎 長田 高明 長田千恵美 小野山シマ子 鶴川 裕子 中川 一喜

玄関のあふれる靴や初笑い
寒冴えて漁火沖に満つ緑
不器用なそれも生き方冬鴉
西川 和代 村尾加都子 安岡留美子

さわらび短歌会

正月も三箇日過ぎぼんやりと八畳仏間の日差しの中に
亡夫の干支亥年の暦にかけかえて共に励みし年の瀬想う
幼子に折り紙教わる部屋温し上手に出来たと花丸もらう
枯草に太き腹して蠮螋の振り上げる斧力なく見ゆ
暗き色の葉群に冬の陽を集め寄り合いて咲く黄の枇杷の花
庭隅に水仙の花咲き出でぬあなたを送りしあの日のやうに
デパートにドア嬢らが立っていた私が若く元気な頃は
肩をもむグローブのような息子の手痛さ遠のきいつかまどろむ
正月の買物終えて引きし籤当たりて若きが鐘を打ち振る
逆らわず風に種子を運ばせるススキに学ぶ妻との仲を
わが里の洪水被害に堤防の嵩上げ工事の丁張かかる

扇野八代生 水野美代子 松本マス子 河上 明美 岩村千代子 前田 充 藤井 擴 野崎 幸子 前田 知子 澤近 正弘 前田 昭夫

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。